

## 品種・作型を組み合わせた地域特産エダマメの収穫期拡大

前嶋 敦夫・北山 美子\*・岩瀬 利己  
(青森県畑作園芸試験場・\*青森県農業試験場)

Prolonging harvest terms of local special edamame in Aomori prefecture by assorting cropping types or cultivars

Atsuo MAEJIMA, Yoshiko KITAYAMA\* and Toshimi IWASE

(Aomori Field Crops and Horticultural Research Center and \*Aomori Agricultural Experiment Station)

### 1 はじめに

青森県の在来種「毛豆」は優れた食味を有しているが、晩生で販売に不向きとされ、自家用として栽培されるにとどまってきたことから、良食味の早生種の開発が望まれていた。青森県畑作園芸試験場では「毛豆」に放射線照射を行い、良食味で早生の「あおり豊丸」と「あおり福丸」を育成した<sup>1)</sup>。現在、これら品種を利用し、新たなエダマメの産地づくりに取り組んでいるところである<sup>2)</sup>。これまで「あおり豊丸」・「あおり福丸」の栽培法については、5月上旬の移植又は播種で収穫期を前進できることが報告されている<sup>3)</sup>。今回、県南地域での普通栽培において「毛豆」も含めこれら品種を用いて播種期をずらした複数の作型を組み合わせることで、エダマメの収穫期が大幅に拡大された。また、気象条件が安定している津軽地域において移植・被覆栽培での早期収穫を検討したところ収穫期が前進したので、これらについて報告する。

### 2 試験方法

(1) 普通栽培での作型の組み合わせによる収穫期の拡大  
供試品種は「あおり豊丸」、「あおり福丸」、「毛豆」の3品種、播種期は「あおり豊丸」及び「あおり福丸」が5月上旬、5月下旬、6月中旬、「毛豆」は5月下旬、6月中旬とした。1999年は5月上旬播種が5月6日、5月下旬播種が5月24日、6月中旬播種が6月14日、2000年はそれぞれ5月9日、5月25日、6月14日に実施した。栽植様式は「あおり豊丸」、「あおり福丸」が畦幅70cm、株間10cm、1条1本植え、「毛豆」が畦幅70cm、株間15cm、1条1本植えとし、施肥量は窒素0.5kg/a、りん酸1.5kg/a、加里1.0kg/aで実施した。試験場所は青森県畑作園芸試験場(六戸町柳沢)で、1999年と2000年の2ヵ年実施した。

#### (2) 移植・被覆栽培における収穫期

供試品種は「あおり豊丸」、「あおり福丸」、「毛豆」の3品種を用いた。被覆資材は、マルチには1999年グリーンポリ、2000年がセラシート、トンネルには2年ともパスライトを使用した。移植栽培では「あおり豊丸」及び「あおり福丸」は1999年は4月5日にセルトレイに

播種したものを4月19日に移植し、2000年は3月21日、28日及び4月4日にセルトレイに播種したものを4月10日、13日、19日にそれぞれ移植した。直播栽培では、1999年は4月19日及び27日にそれぞれ播種し、2000年は4月10日、13日、19日にそれぞれ播種した。「毛豆」は直播栽培のみで供試し、1999年は4月27日、2000年は4月19日にそれぞれ播種した。育苗は128穴セルトレイに培土(与作N-15)を入れ、1粒ずつ播種し、初生葉展開時に移植した。栽植様式は畦幅140cm、株間10cm、2条1本植えとし、施肥量は窒素0.3kg/a、りん酸0.9kg/a、加里0.6kg/aで実施した。試験場所は青森県農業試験場(黒石市)で、1999年と2000年の2ヵ年実施した。

### 3 試験結果及び考察

普通栽培での収穫期については、5月上旬播種に比べ、5月下旬播種では「あおり豊丸」で10~15日、「あおり福丸」で13~17日遅くなることになり、6月中旬播種では「あおり豊丸」で15~19日、「あおり福丸」で24~25日遅くなることになった。「毛豆」については、5月下旬の適期播種に比べ、6月上旬播種では5~8日程度遅くなった。収穫適期については、作期による違いはほとんどなく、「あおり豊丸」で8~9日間、「あおり福丸」で10~13日間、「毛豆」で9~11日間程度であった。上物収量は、「あおり豊丸」では年次間の違いがあり一定の傾向はなかったが、「あおり福丸」では6月中旬播種が最も多く、5月上旬播種で少なめであった。また、「毛豆」では5月下旬播種の場合が多収となった。このように「あおり福丸」の5月上旬播種では上物収量が劣ったものの、減収程度は小さかったことから、今回供試した8つの作型を組み合わせることで、8月中旬から9月下旬まで切れ目ない収穫が可能であった。(表1, 2)

トンネル・マルチ被覆栽培の直播の場合には、「あおり豊丸」・「あおり福丸」とも8月上旬からの収穫となった。また、移植を行った場合には、収穫期は直播に比べ、「あおり豊丸」で16~29日、「あおり福丸」で15~27日も早まった。また、「毛豆」の直播では4月下旬に播種しても9月中~下旬の収穫となり、品種の特性から収穫期を大幅に早めることはできなかった。(表3, 4)

4 まとめ

「あおり豊丸」・「あおり福丸」・「毛豆」を用いた普通栽培では、播種時期を変えて、これら作型を組み合わせるにより8月中旬から9月下旬までの約1ヶ月半にわたってエダマメを連続出荷することが可能と考えられた。また、先の報告<sup>3)</sup>との比較から、これに「あおり豊丸」, 「あおり福丸」を用いたマルチ及びトンネル被覆栽培(4月中旬播種)を加えることができると県南地域でも8月上旬からの収穫が可能であると判断された。また、さらに収穫期を早める対策として4月中旬に移植することが必要となり、この作型の導入では津軽地域より数日遅れることが予想されるものの、県南地域でも7月下旬から収穫できることが推察された。

表1 普通栽培における収穫期と収量(1999年)

供試品種	播種期 (月.日)	収穫適期			上物収量 (kg/a)
		始期 (月.日)	最適期 (月.日)	終期 (月.日)	
あおり豊丸	5. 6	8.17	8.22	8.25	93.7
あおり福丸	5. 6	8.21	8.27	9. 1	46.5
あおり豊丸	5.24	8.27	9. 1	9. 5	86.1
あおり福丸	5.24	9. 3	9. 9	9.14	59.7
毛豆	5.24	9.18	9.23	9.27	126.3
あおり豊丸	6.14	9. 6	9.10	9.14	90.7
あおり福丸	6.14	9.14	9.20	9.25	67.4
毛豆	6.14	9.23	9.28	10. 3	114.6

注) 上物収量は収穫適期時の多粒莢(2粒以上)の収量

表3 移植・被覆栽培における収穫期と収量(1999年)

供試品種	播種期 (月.日)	定植期 (月.日)	収穫適期			上物収量 (kg/a)
			始期 (月.日)	最適期 (月.日)	終期 (月.日)	
移植+トンネル+マルチ						
あおり豊丸	4. 5	4.19	7.21	7.26	8. 4	94.7
あおり福丸	4. 5	4.19	7.16	7.24	8.10	58.3
直播+トンネル+マルチ						
あおり豊丸	4.19	—	8. 5	8.11	8.23	149.4
あおり福丸	4.19	—	8. 4	8. 8	8.31	56.9
あおり豊丸	4.27	—	8. 8	8.14	8.22	109.3
あおり福丸	4.27	—	8. 7	8.14	9. 1	63.1
毛豆	4.27	—	9.19	9.23	9.27	100.4
直播+マルチ						
あおり豊丸	4.27	—	8. 9	8.16	8.25	86.9
あおり福丸	4.27	—	8. 8	8.18	9. 4	75.7
毛豆	4.27	—	9.21	9.25	9.29	155.3

注) 上物収量は収穫適期時の多粒莢(2粒以上)の収量

引用文献

- 1) 平井輝悦, 小島一之, 森行勝也. 1996. エダマメ在来種の放射線照射による早生化. 東北農業研究 49: 169-170.
- 2) 岩瀬利己. 2001. 青森県における中山間地域農業の現状とミニ産地形成のための地域特産物の開発技術. 東北農業研究(別号) 14: 51-62.
- 3) 岩瀬利己, 熊谷憲治. 1998. エダマメ‘あおり豊丸’‘あおり福丸’の作期拡大技術. 東北農業研究 51: 187-188.

表2 普通栽培における収穫期と収量(2000年)

供試品種	播種期 (月.日)	収穫適期			上物収量 (kg/a)
		始期 (月.日)	最適期 (月.日)	終期 (月.日)	
あおり豊丸	5. 9	8.12	8.16	8.21	78.9
あおり福丸	5. 9	8.15	8.20	8.25	45.5
あおり豊丸	5.25	8.28	9. 1	9. 5	86.8
あおり福丸	5.25	8.30	9. 6	9.11	53.9
毛豆	5.25	9.13	9.18	9.22	109.3
あおり豊丸	6.14	9. 1	9. 6	9. 9	65.8
あおり福丸	6.14	9. 7	9.14	9.20	77.3
毛豆	6.14	9.20	9.26	10. 1	98.1

注) 上物収量は収穫適期時の多粒莢(2粒以上)の収量

表4 移植・被覆栽培における収穫期と収量(2000年)

供試品種	播種期 (月.日)	定植期 (月.日)	収穫適期			上物収量 (kg/a)
			始期 (月.日)	最適期 (月.日)	終期 (月.日)	
移植+トンネル+マルチ						
あおり豊丸	3.21	4.10	7. 5	7.10	7.15	53.7
あおり豊丸	3.28	4.13	7.10	7.14	7.19	73.5
あおり豊丸	4. 4	4.19	7.17	7.22	7.26	65.5
あおり福丸	3.21	4.10	7. 6	7.13	7.22	42.8
あおり福丸	3.28	4.13	7.10	7.17	7.25	78.5
あおり福丸	4. 4	4.19	7.17	7.24	7.30	67.6
直播+トンネル+マルチ						
あおり豊丸	4.10	—	8. 4	8. 8	8.12	68.2
あおり豊丸	4.13	—	8. 1	8. 5	8. 8	65.4
あおり豊丸	4.19	—	8. 6	8.10	8.13	81.4
あおり福丸	4.10	—	8. 4	8. 9	8.16	47.8
あおり福丸	4.13	—	8. 3	8. 8	8.15	60.5
あおり福丸	4.19	—	8. 5	8.10	8.17	57.0
毛豆	4.19	—	9.10	9.14	9.20	103.8

注) 上物収量は収穫適期時の多粒莢(2粒以上)の収量